

小学校社会科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	かかわり合いながら学び、問い続ける社会科学習とは	
日時	平成 27年 7月 3日 (金)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	内山 隆 氏 (北海道教育大学釧路校 教授)	
参加者	45 名	
研修会 の 様子		<p>社会科のエキスパートである北海道教育大学釧路校教授の内山隆先生をお招きして、理論研修会を開催しました。今回は、石狩の小学校社会科教育で課題となっている「かかわり合いながら学び、問い続ける社会科学習の在り方」について、お話いただきました。</p>
		<p>内山先生が現役の小学校教諭だった頃の多くの優れた実践例をもとに、たいへん詳しくお話いただきました。お話しの中では、これまでに石狩の社会科教育が積み上げてきた研究の優れているところや今後に期待することなども触れていただきました。</p>
		<p>今回の理論研修会で参加者が最も圧倒されたのは、内山先生が小学校教諭だったころの子どもたちのノートでした。学習したこと、自分の考えなどが、びっしりと書かれており、「自分たちもこのような実践を」という思いを多くの参加者が抱きました。</p>
		<p>内山先生は、「ぼくは、以前は実践家だったんです。」「授業をすることが好きです。」と参加者に語りかけていました。教授となられた今でも、社会科を心から愛する本当に素敵な先生でした。</p>